



# 田島小だより

No. 1 2



## 飛び込む「勇気」と 全てを受け入れる「寛容」

「学校で何を学んでいるのでしょうか？」

子供たちに聞くと「算数・国語……」と、教科の学びを答える子が多いです。

保護者の方に「学校で学んでほしいことは？」と聞くと教科の学力の他に「集団の中での人間関係づくり」をあげることが多く、集団生活の力を身に付けてほしいと考えているようです。

人間関係づくりについて必要となる力、大切な力として私自身が考えていることは、

**「飛び込む勇気」と「全てを受け入れる寛容」**です。

簡単に図化すると、以下のように整理できるかと思います。



学校での様子で書きましたが、実は大人になっても同じことをしていると思います。例えば、私たち教員は、毎年「人事異動」で組織が変わります。その中で、異動者は「飛び込む勇気」をもって新しい職場に来ます。職場は、「全てを受け入れる寛容」をもって異動者を迎えます。その後、様々な教育活動を進める中で、共に協議し、協力して活動します。その中で、組織自体が変わっていきます。(これを「組織の活性化」ともいいますね)

私自身、校長として学校が「活性化」するよう努めています。

これからも、学校では、子供たちが大人になって新たな関係をスムーズに作れるよう教育活動を進めていきたいと考えています。

コロナ禍で十分できなかったと思いますが、家庭にあっては、地区や学年などの組織に「勇気」を持って飛び込み、「寛容」的に受け入れ、そして、その中で、時にぶつかり、時に励まし合う関係を構築し、新たな価値観等を共有する姿を子供たちに示していただくと、より子供たちの学びが充実するものと考えます。

夏の郡PTA講演会 竹下先生の公演にありました「子供は置かれた環境に適應する」を思い出します。

## 「令和6年度の重点事項」として

令和4年度「3匹のぞうさん」をキーワードとして、学校・児童・保護者そして地域の方とともに教育活動を進めてきました。

令和5年度は「キャリア教育」を柱に「魔法のランプ」をキーワードに進めてきました。

では、令和6年度は・・・

上のキーワードは残しつつも、「チャレンジ」を重点にすえ、学校教育活動を進めたいと考えています。先に書きました「飛び込む勇気」です。

より教育目標に関連付けて整理すると

知・・・何事にも意欲的に取り組む。	「やる気」
徳・・・己に勝つ。	「克己(こつき)」
体・・・体力を身に付ける。	「健康力」



です。

「体力テスト」では、昨年度の記録を上回ることを目標に意欲的に取り組む姿を見ました。「シヤトルランで、去年よりいい記録出すぞ！」と、目に見える目標を持つことはチャレンジする意欲につながっているようです。学習面ですと、その目標が目に見え、分かりやすく持たせることが難しく、そのことがやる気を出せずにいる原因とも考えられます。

次年度、「勇気を持って飛び込んでくる新たな仲間」と「全てを受け入れる寛容さを持った組織」で「新しい人間関係(組織)」を構築し、子供たちのために教育活動に取り組んでまいります。本年度同様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

# 12月

1(金)個別懇談(～5日)  
防災教室(5年)  
7(木)地区子供会  
8(金)3年歌舞伎リハーサル  
10(日)3年歌舞伎公演  
11(月)繰替休業日  
12(火)検定テスト(国)  
13(水)検定テスト(算)

14(木)要請訪問  
※お客様がいらっしゃいます。  
21(木)学期末清掃  
22(金)第2学期終業式  
23(土)冬季休業(～1/8)  
24(日)クリスマスイブ  
29(金)年度末休業日  
R6. 1月  
1(月)元旦

